

令和2年度 予算概要

(個別政策資料編)

1	「まちづくり地区懇談会」、「町長への手紙」で提言いただいた政策や要望の予算化	1
2	安全安心に関する主な取り組み	2
3	健康づくり推進主要施策	3
4	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業実施に向けて	4
5	高齢者タクシー利用助成事業	5
6	移住定住に関する取り組み（みのわU・Iターン応援プロジェクト、関係人口創出拡大）	6
7	としまの森整備事業	8
8	森林環境譲与税を活用した施策	9
9	箕輪町観光戦略プラン	10
10	小中学校のICT環境の整備	11
11	木下保育園整備事業	12

箕 輪 町

「まちづくり地区懇談会」・「町長への手紙」で提言いただいた政策や要望の予算化

まちづくり地区懇談会・町長への手紙などで提案をいただいた政策や要望について担当課などで検討し、令和2年度予算等として計上した事業です。

提言・要望内容	実施事業	予算額 (千円)	主管課
熊の目撃情報について、目撃から1時間して放送が流れた。職員が出勤していないので迅速な対応は難しいが対策を。 防災無線について、難聴のところがある。また、町外にいても情報が分かるようにしてほしい。	防災アプリ導入事業	11,950	総務課
	防災行政無線用戸別受信機整備事業	3,610	総務課
今年の防災訓練にて、アルファ米を使用した。町から配布されたアルファ米はアレルギー対策が出来ていないものだったので、対応をお願いしたい。	災害対策用消耗品購入	3,310	総務課
台風19号では災害弱者の被害があった。その中で入居者250人の介護施設では全員無事あったとの報道があった。毎月の訓練が功を奏した。住民支え合いマップがあるが、要支援者をどう守るか町の考えは。	要支援者支援システム導入事業	1,197	福祉課
小さな区なので、必ず役員が回ってくる。役の成り手がなくなることが考えられる。 新規転入者の常会未加入の増加対策を。	地域総合活性化事業交付金	30,000	企画振興課
	区・常会PR用チラシ	159	企画振興課
都会の人たちに田舎の豊かさを伝える取組みを。自分自身、暮らしやすそう、眺望が良い、スーパーが近い、という環境がとても恵まれている。友人が遊びにきて今の環境をみると、いいねいいねと言う。中身のアピールを。	関係人口創出拡大事業 みのわファンクラブ事業	7,965	企画振興課
合葬式墓地の整備について	大原公園墓地測量業務委託	2,255	住民環境課
中原のバス停は、路上駐車が多いので有料駐車場を作ってもらいたい。	中央道高速バス停有料化業務委託	4,826	住民環境課
子どもに電車を見せようと沢駅に行ったが、企業の名前の入った駐車場しかなく停められなかった。	沢駅駐車場整備工事	7,062	住民環境課
高齢者等の移動手段。バスは本数が少ないため使いづらい。また、高齢者の免許返納制度の充実や移動販売車の廃止など高齢者をとりまく環境は、大変厳しくなっている。町としての施策や対応を。	運転免許自主返納交付金	1,000	SC推進室
	公共交通検討会議	234	企画振興課
	高齢者タクシー助成券事業	4,040	福祉課
みのわ天竜公園のトイレ整備について	みのわ天竜公園トイレ改築工事	30,569	建設課
赤そば畑についてになるが、車いす、杖などを使用した高齢者の来場もあるが、赤そば畑まではいけない。ゴルフ場のカートのような電動車いすの活用を今後考えていただきたい。	赤そばの里電動車いすリース	93	商工観光推進室
台風で多数の倒木があった。災害時の倒木対策を	危険木等除去委託	1,650	産業振興課
パソコン教室・スマホ教室を実施してほしい	公民館講座	0	公民館

令和2年度の安全安心に関する主な取組み

消防防災

【新】 防災アプリ導入	7,700千円
防災行政無線ユーザー別受信機整備	2,530千円
【新】 移動用蓄電器整備	495千円
災害時用備蓄品	3,310千円
【新】 消防団車両更新(第6分団ポンプ車)	21,205千円
【新】 防災ハザードマップの安心・安全マップ掲載	814千円
地区防災計画策定支援	— 千円

セーフコミュニティ

安全安心パトロール	4,766千円
交通安全対策費 (防犯外灯拡充含む)	11,163千円
高齢者運転免許自主返納の促進事業	1,000千円
【新】 公共交通検討会議の開催	234千円
【新】 要支援者支援システムの構築	1,197千円
【新】 外国人支援用翻訳機購入	62千円

教 育

【新】 学校トイレ整備 (小学校トイレ洋式化、中学校多目的トイレ整備)	38,640千円
【新】 藤が丘体育館・社会体育館耐震対策	155,678千円

道路橋梁等

危険ブロック塀撤去事業補助	1,000千円
横断防止柵・グリーンベルト等設置	5,150千円
橋梁長寿命化補修事業	53,572千円
【新】 河川堆積土砂撤去等事業	10,000千円
【新】 重要給水施設管路更新事業 (水道事業会計)	151,200千円

令和2年度健康づくり推進主要施策

令和2年1月に施行された箕輪町健康づくり推進条例を効果的に推進していくために生活習慣病予防・運動習慣の定着・検診受診率の向上に向けた取組みを実施

周知、PR：庁舎ホールに健康づくりのためのコーナー設置。レシピカード・条例ガイド版を作成。

予算額：1,700千円

生活習慣病予防のための取組み

予算額：417千円

生活習慣病予防チャレンジ

肥満等生活習慣病の要因となる状態を改善する取組みにチャレンジ。

生活習慣を改善するための動機付けとして実施する。

- 対象
箕輪町在住もしくは在勤者で69歳以下の肥満等生活習慣病のリスクがある方
- 実施方法
実施期間は3ヶ月。チーム制（3人1チーム）で、事前に目標設定を行い、3ヶ月後の達成状況で景品を贈呈



新たな手法の動機付けにより町民の健康度の改善を目指す

運動習慣定着のための取組み

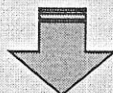
全町民参加型ウォーキング (発足65周年記念事業)

予算額：1,000千円

- ①協会健保ウォークを活用したウォーキング
9～11月、3人1チーム
個人部門、事業所部門に分け表彰

- ②ウォーキングスタンプラリー

町内で実施されるウォーキングイベント等をパッケージ化して町民への周知を図る。各種ウォーキングイベントの参加により、スタンプを付与し、一定数のスタンプを獲得した人に景品を贈呈



運動機会の提供により、町民の継続的な運動習慣の獲得を目指す。

検診受診率向上のための取組み

健診前日音声放送作戦

さわやか健診前日に音声告知車で該当地区を周回し、健診受診の呼びかけを行う。

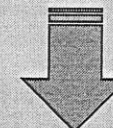
健診受診促進のぼり旗の設置

予算額：64千円

役場庁舎玄関ホールや各種イベント会場等にのぼり旗を設置し、健診受診をPR。

SIB事業としての検討

健診・検診受診率向上のため、成果報酬型（SIB：ソーシャルインパクトボンド）を活用した事業構築の検討を開始する。



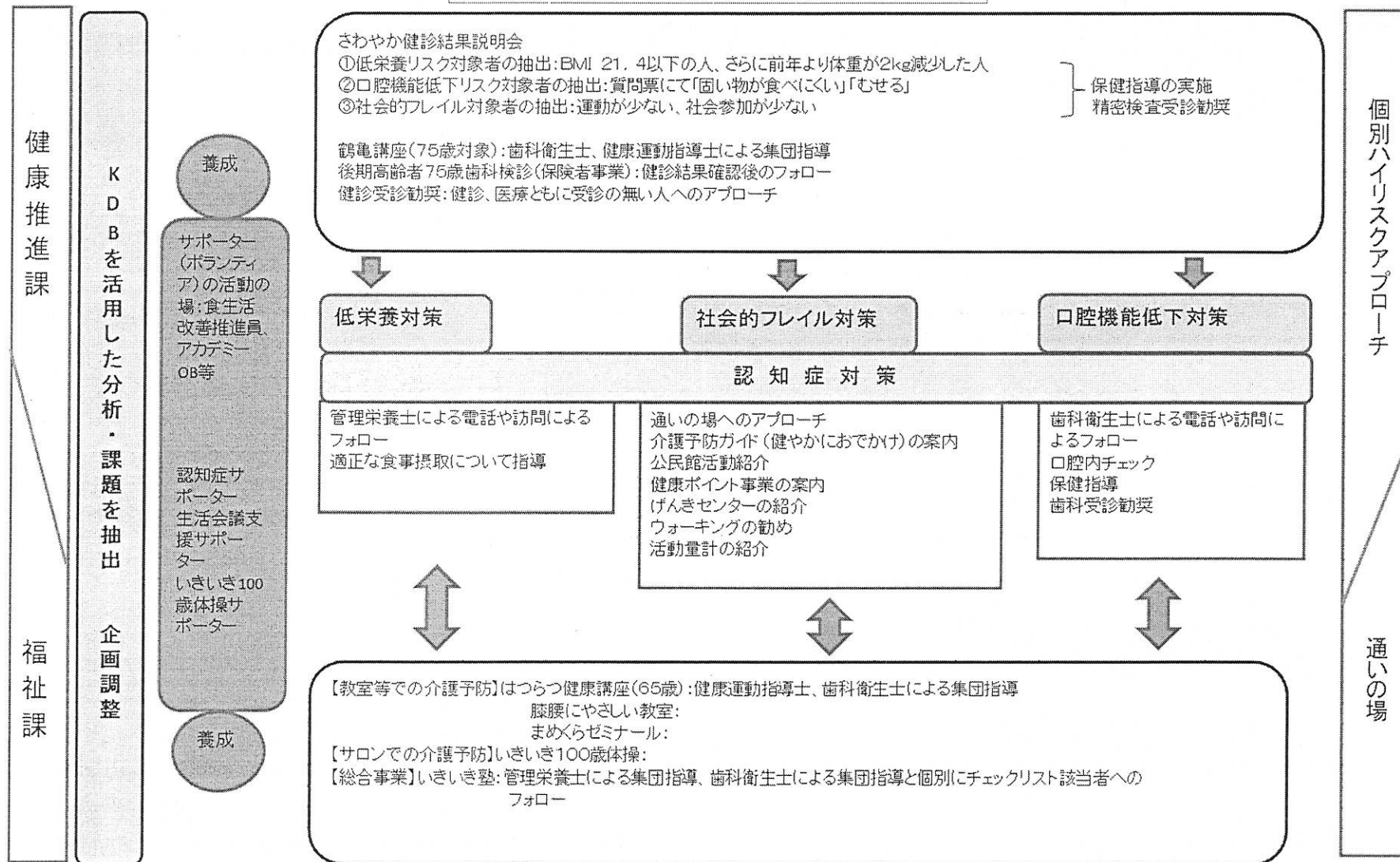
新たなPRや、健診・検診の仕組みを検討し、町民の受診率の向上を目指す。

生涯にわたって「支え合い、健やかに心豊かに暮らせるまち」の実現

高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業実施に向けて

- 高齢者の自立した生活を実現し、健康寿命の延伸を図るため生活習慣病の重症化予防と、生活機能の低下を防止する取組みを実施する
- 保健事業と介護予防の一体的実施に向けて検討する

予算額:フレイル対策として1282千円



高齢者タクシー利用助成事業について

令和2年度予算額 4,040千円

事業の目的

自動車免許の返納等により通院や買い物等が困難な高齢者が、タクシーを利用する場合に、料金の一部を助成することにより、高齢者世帯の経済的負担の軽減を図ると共に外出支援を行う。

事業の対象者

事業実施年度において満75歳以上の高齢者のみ世帯で 次のいずれにも該当する方

- ①自家用車を所有していない世帯
- ②本人及び世帯全員が住民税非課税のもの

助成金額

年額 12,000円を上限
申請月により月割で助成

周知方法

- ・ みのわの実 4月号にて全戸周知
- ・ 民生・児童委員会、ケアマネージャー連絡会にて周知
- ・ ホームページ、プレスリリース

「みのわ U・I ターン応援プロジェクト」

※ ●：「キ 親等の家族からの働きかけによるUターン促進策」該当事業
下線：「ク 女性のU・Iターン促進策」該当事業

令和2年度当初予算案 143,495千円（再掲分は除外）

ア 住まいの確保策 予算 30,500千円

- 〈本格的に移住を考えている方へ〉
 - 移住促進リサーチ住宅【今後検討】
- 〈土地・住宅を探している方へ〉
 - 空き地バンクの創設
(空き地等活用促進制度の創設)【今後検討】
 - 空き家バンクの運営
- 〈住宅を購入・新築された方へ〉
 - 空き家改修費等補助金等 [4,500千円]
 - 若者世帯定住支援奨励金 [26,000千円]

イ 就労・起業支援策 予算 3,968千円

- 〈中小企業等への就労支援・起業支援〉
 - U・Iターン応援就労・起業支援補助金 [1,200千円]
 - U・Iターン応援特定人材就労奨励金 [1,800千円]
 - U・Iターン応援就職活動支援補助金 [200千円]
- 〈企業の魅力の発信〉
 - 輝くゲンバプロジェクト [令和元年度で終了]
- 〈経済的負担の軽減〉
 - U・Iターン応援奨学金返還等支援補助金 [768千円]

ウ 移住者のフォロー体制の構築策 予算 4,130千円

- 〈移住者の満足度の向上〉
 - 移住定住総合相談窓口の設置【拡】 [4,130千円]
 - 箕輪町移住交流推進協議会【新】
 - 移住者里親制度【今後検討】

エ 箕輪町とのつながり確保策 予算 3,137千円 再掲以外 1,837千円

- 〈愛着心の醸成〉
 - 小中学校における箕輪学を学ぶ機会の更なる充実
 - 高校生のときに箕輪町の産業・企業のことを紹介 [50千円]
- 〈箕輪出身者とのつながりの確保・維持〉
 - ファンクラブ(平成30年度創設)の運営及び入会促進 [1,487千円]
 - 若者同窓会支援補助金 [300千円]
- 〈キ 親等の家族からの働きかけによるUターン促進〉
 - 町内に親等の家族がいるUターンの場合の各種補助金の加算 [(1,300千円)]

オ Iターン促進策 予算 40,530千円 再掲以外 35,465千円

- 〈知名度の向上〉
 - 知名度向上フェアの開催 [終了]
 - ふるさと応援寄附金 [30,779千円]
 - ファンミーティングの開催 [(935千円)]
- 〈移住候補者の掘り起し〉
 - 移住相談会の開催・出展等 [2,326千円]
 - 移住体験ツアーの開催【新】 [825千円]
 - 移住体験住宅の運営 [391千円]
- 〈移住希望者への利便性〉
 - 移住促進リサーチ住宅【今後検討】
 - 移住定住サイトのスマホ対応 [1,144千円]
- 〈移住希望者への相談体制の充実〉
 - 移住定住総合相談窓口の設置【拡】 [(4,130千円)]

カ 若者・子育て世代を惹きつける魅力あるまちづくり 予算 67,595千円

- 〈幅広い世代の交流拠点の整備〉
 - 交流拠点づくり【新】 [250千円]
- 〈多様な働き方の創出〉
 - 飲食店創業支援補助金 [1,000千円]
 - 女性向けの起業支援講座等の開設 [504千円]
 - 女性のための就業相談窓口の開設 [3,103千円]
 - 女性の働きやすい環境づくり補助金 [1,500千円]
- 〈幅広い世代と多様な人材の活躍できるまちづくり〉
 - 町内女性によるワークショップ等の開催 [ゼロ]
 - 若者が夢にチャレンジするイベント等の開催【終了】
 - 男女共同参画の更なる推進 [1,461千円]
 - クラウドソーシングの普及と仕組みづくり [5,453千円]
 - 企業誘致 [1,639千円]
- 〈子育て施策の充実〉
 - みのわ版ネウボラの導入
 - 子どもの好奇心を育む保育の実践 [1,514千円]
 - 子育てに関する情報発信 [670千円]
 - 学校教育の充実【拡】 [48,861千円]
 - 放課後児童の安全・安心な居場所の提供 [1,640千円]

関係人口創出拡大事業

令和2年度予算額: 6,634千円

町内に散らばる様々な地域の魅力、行事・ボランティアへの参加機会を集約し、インターネットや集い・学ぶ機会の提供を通じて町内外に発信することにより、地域と若者や都市部の住民をつなぐ「関係人口の創出」を進めます。また、地域の若者や都市部の住民が、箕輪町をフィールドに、様々なことに挑戦し、自己実現することを応援することで、この地域への関わり、愛着を醸成し、将来の交流人口、移住・定住人口の増加を目指します。

■主な取組み ○地域の魅力、行事・ボランティアへの参加機会の収集 ○インターネットを通じた情報発信 ○箕輪町で挑戦する若者への支援

拠点施設(コーディネーターデスク・企業オフィス・コミュニティスペースが入ったシェアオフィス)

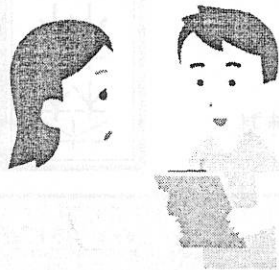
■コーディネーター

コーディネーターは地域の情報収集と、若者への支援(集い・学ぶ機会提供、助言等)を行う

■企業

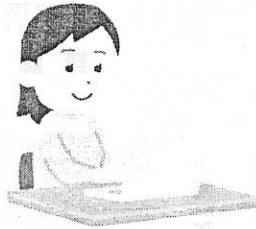
企業は自社の業務を行いながら、シェアオフィス(学びの場合含む)の管理とインターネットを活用した若者向け情報発信を行う

つながり人口拡大
コーディネーター



地域の魅力や行事等への
参加機会の情報を収集

企業



SNSを活用した
情報発信

発信する情報
の提供

学び
の場

大学生等都市部
の住民



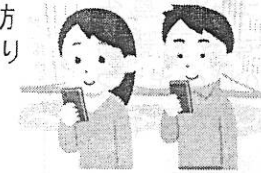
集い・学ぶ機会
の提供

高校生等地域の若者

箕輪町をフィールド
にした挑戦

■都市部の住民

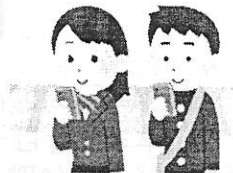
大学進学のため、箕輪町から都市部に転出した学生や、地域実習を通して箕輪町に関心を抱いている大正大学生等都市部の住民に、箕輪町の魅力や、イベント等への参加機会に関する情報を届け、箕輪町への関心を創出し、また箕輪町への来訪のきっかけを作ります。



箕輪町への来訪
学びの場の利用

■地域の若者

高校生等、箕輪町内をはじめ地域の若者に対して、箕輪町の魅力や、行事・ボランティアの参加機会に関する情報を届け、地域への関心を創出し、地域の行事、ボランティアへの参加のきっかけを作ります。また、17歳町民意識・生活実態調査等で要望の多い、自習スペースや、学びの場として、左図のシェアオフィスを周知し、利用につなげます。



行事参加・協力

関連事業

- みのわファンクラブ
- みのわファンクラブミーティング
- 移住体験ツアー
- 豊島区交流推進事業
 - ・大正大学地域実習
 - ・こども大学みのわ
 - ・芸術・スポーツ交流 等
- としまの森整備事業
 - ・としまの森PR
 - ・環境交流ツアー

地域

(主に町、地区、行事主催者、社会福祉協議会等、若者の関わり、つながりの受け皿となり、若者の参加を求めている者)

としまの森整備事業

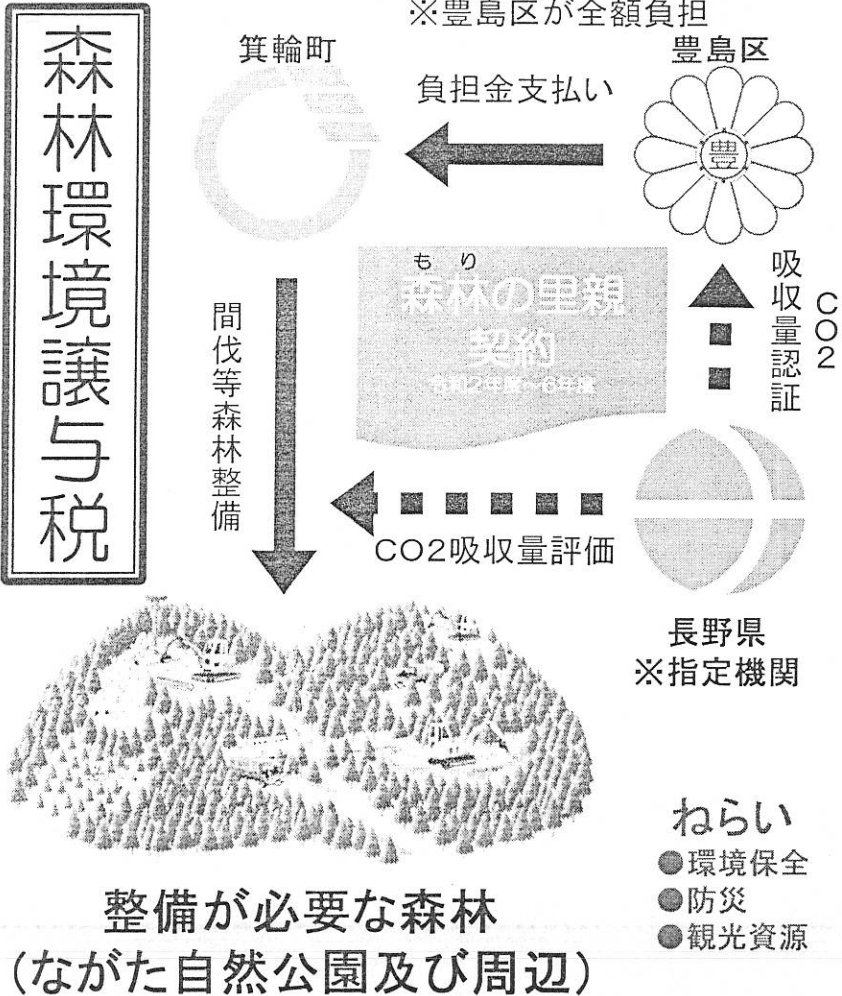
令和2年度予算額: 5,008千円

豊島区交流推進事業の一環として、豊島区に交付される森林環境譲与税を活用した、「としまの森」整備事業に令和2年度から取り組みます。本事業により、環境保全、防災、観光に資する森林の整備を進めると共に、豊島区を中心とする都市部住民の関係人口、交流人口の増加を目指します。

■主な取組み ○ながた自然公園等の森林整備 ○としまの森PRによる都市部での認知度向上 ○環境交流ツアー等による交流人口の引き込み

としまの森整備事業

予算: 3,371千円
※5年間で15,000千円程度
※豊島区が全額負担



としまの森PR事業

■としまの森看板設置
としまの森に看板を設置
予算: 550千円
時期: 令和2年10月頃
場所: ながた自然公園



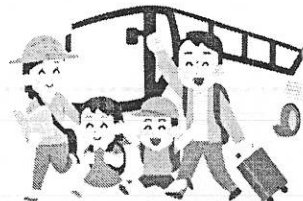
発信



■としまの森CM等
としまの森のCMやチラシで
豊島区を中心にPR
予算: 385千円
時期: 令和2年11月頃

引き込み

■環境交流ツアー受入れ
としまの森を訪問する都市部住民向けツアー(年1回)
予算: 207千円
※ツアーは豊島区主催
時期: 令和2年11月(予定)



環境交流ツアー事業

■自然・森林体験イベント
ツアーに併せてとしまの森で自然体験・森林作業体験をするイベントを開催
予算: 495千円
時期: 同左
場所: ながた自然公園



ねらい

- 交流人口
- 関係人口

増加

豊島区を中心とする
都市部住民



森林環境譲与税を活用した施策

森林環境譲与税予算額 6,300千円

【継続】境界の確定に向けた図面整備等 4,180千円

森林所有者の意向調査の準備作業(森林の現状把握、境界の確認・明確化等)を行います。

【新規】ながた自然公園支障木伐採 644千円

観光施設内の山林の間伐、下刈り等により危険・支障木の除去や景観整備を実施し、多くの来場者に森林に親しんでいただきます。

【新規】危険木等除去委託料 1,650千円

地元要望により、緊急的に対応が必要な危険・支障木の除去を行います。

箕輪町観光戦略プラン策定フロー図

商工観光推進室

目的

箕輪町の主産業は製造業や農業ということもあり、観光産業が根付いている状況とは言い難い。国や県が大々的に観光推進を行っているように、観光産業は日本における数少ない成長産業のひとつであり、工夫次第でスタートアップが可能な産業とも言え、これまであまり着目されてこなかった地域資源を活用することで他地域との差別化や高付加価値化を図ることが可能である。

そこで、これまであまり手をつけてこなかった観光産業の振興を図り、箕輪町における新たな産業創出に取り組むため「箕輪町観光戦略プラン」の策定に取り組むものとする。

策定方針

箕輪町観光戦略プラン【令和3年度～令和8年度】

上記のとおり今まで観光産業が根付いていないため大掛かりな観光振興施策を策定するのではなく、観光産業が創出されるような小規模な施策（観光人材の発掘や育成コンテンツの開発、OTA(※)などを活用したプロモーション、外国人など受入環境整備、広域連携等）を中心に令和3年度以降スピーディに実施可能な事業を立案することを策定方針とする。

(※)OTAとは、インターネット上で取引を行う旅行会社のこと。Online Travel Agentの頭文字の略。

策定スケジュール

- ①箕輪町観光戦略プラン策定委員会の設置
- ②見識者・公募による検討委員会 13人の開催
全8回の委員会の開催予定[予算360千円]
プラン策定のためアドバザー業務委託[予算3,000千円]
- ③基礎調査・先進地事例調査 4月～10月
- ④検討委員会からの意見まとめ 素案作成 10月末
- ⑤観光戦略プラン完成 11月～12月上旬
- ⑥箕輪町議会への報告 3月

策定事業内容

- ①基礎調査、先進事例調査
⇒国や県の観光入込み状況や観光政策の整理、統計資料の分析など行い、箕輪町が参考とすべき施策等を明らかにする
- ②箕輪町及び周辺地域の地域資源の整理
⇒町や上伊那地域の地域資源を洗い出しその状況を整理し、観光への活用状況や競争力の有無を明らかにしていく
- ③観光に携わる人材・事業者等の把握
⇒町商工会や長野伊那谷観光局等から情報を抽出し、ヒアリング調査を行い観光事業実施の方針や支援策等を把握する

ICTの環境整備

学校教育課

小・中学校のICT教育の環境整備を進めてまいります。

GIGAスクール構想の実現

「児童生徒1人1台コンピュータ」の実現を見据えた施策

○ ICT 環境整備の抜本的充実

①児童生徒1人1台コンピュータを実現

(1台当たり4万5千円を国が補助。令和2年度から令和5年度までに、小中全学年で段階的に導入予定)

⇒既に導入されているタブレットパソコンのリース料(小学校115台、中学校120台) 1,461万3千円

②高速大容量の通信ネットワーク

(令和2年度までに、全ての小・中・高校・特別支援学校等で校内ネットワークを完備「国の補助1/2、学校毎の上限あり」)

⇒令和元年度3月補正により 1億4,021万5千円

③全国の自治体や学校が、より容易に、より効率的・効果的な調達ができるよう国が支援

(モデル仕様書を提示、都道府県レベルでの共同調達の推進、調達説明会の開催)

大型提示装置の整備

○ 中学校の1学年7教室、2学年7教室、理科室4教室の合計18教室に大型提示装置を設置

168万円

木下保育園建設事業

子ども未来課 保育園施設係

設計概要

(1) 基礎情報

敷地面積	約12,500㎡ (園舎・園庭・駐車場)
建物構造	鉄骨平屋建

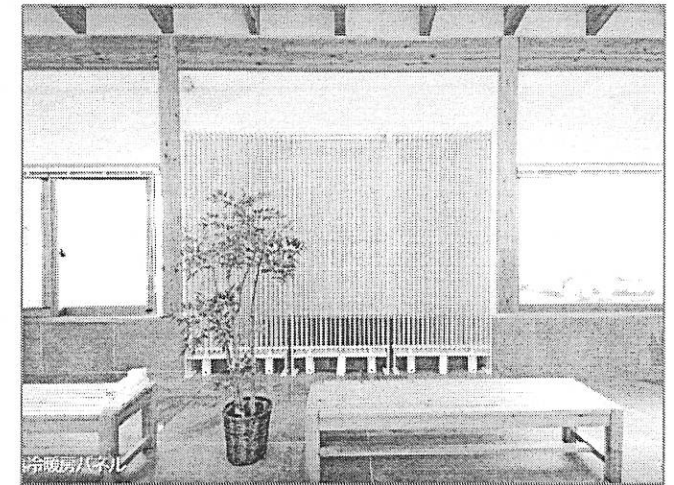
延床面積	約2,800㎡
定員	195人

(2) 施設概要

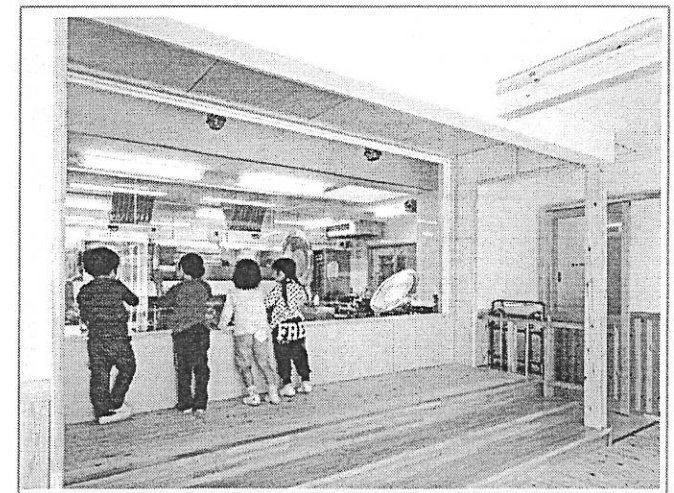
	部屋名等	部屋数
保育室	5歳児(年長)	2
	4歳児(年中)	2
	3歳児(年少)	3
	2歳児	2(3)
	1歳児	2
	0歳児(乳児室)	2
	長時間保育室	2

部屋名等	部屋数
遊戯室	2
読書コーナー	1
相談室	2
給食室	1
職員室	1
会議室	2(1)

駐車場(職員用含む)	122台
------------	------



除湿型放射冷暖房設備(朝日村庁舎)



「調理の見える窓」(松川町名子中央幼稚園)

(3) 設計の特色

- ・自然エネルギーを活用した、地中熱ヒートポンプ設備、太陽光発電設備を設置します。
- ・県内の保育園で初めて「除湿型放射冷暖房設備」の導入を予定しています。一般的な対流式(送風)設備に比べて、ランニングコストが安価で、管理も容易です。温度変化が緩やかで身体への負担が少なく、ホコリが舞わず衛生的です。室外への排気設備がなく安全です。
- ・園庭は芝生にて整備します。
- ・園児に調理の様子が見えるよう、給食室に大きな窓ガラスを設置します。
- ・非常用発電機を設置することにより、停電時にも冷暖房設備、照明器具、屋内消火栓の使用が可能です。
- ・会議の規模に応じて、会議室2部屋を1部屋に変えられます。

現在の進捗状況及び令和2年度の実施事業

令和元年7月～ 実施設計
 8月～9月 質調査
 11月～令和2年1月 地中熱利用に係わる調査(地中熱設備導入事業化計画)
 令和2年2月～7月 保育園用地造成工事(令和2年度へ繰越予定)

令和2年度予算実施事業

令和2年8月～令和3年1月 地中熱設備工事
 令和2年11月～令和4年1月 建築工事・電気設備工事・機械設備工事(令和3年度へ繰越予定)

令和3年10月～令和4年1月 外構工事、太陽光発電設備工事
 令和4年4月 開園予定

令和2年度の主な事業費と財源

主な事業

- ※ 委託料 16,365千円
 - ・ 建築工事等監理業務委託
 - ・ 建築工事等補助監督業務委託
- ※ 工事請負費 1,314,423千円
 - ・ 建築工事
 - ・ 電気設備工事
 - ・ 機械設備工事
 - ・ 地中熱設備工事

全体事業費と財源

- ・ 歳出 1,331,706千円
- ・ 財源内訳
 - 国庫支出金 146,541千円
 - 繰入金 7,688千円
 - 町債 1,056,200千円
 - 一般財源 121,277千円

